

編集後記

今回の編集後記は、コロナ禍や東京五輪の動向を見据えつつ、入稿期日ギリギリまで筆を止めていました。そして今、これを書いている7月初旬、ついに4回目の緊急事態宣言が東京に発出されることが決まった中で、東京オリンピック・パラリンピックが開催されようとしています。

先日、久しぶりに「朝まで生テレビ」を観ました。テーマは、「激論！“コロナ禍”国民生活と日本経済」でした。放送中に行われた視聴者アンケート「あなたは東京五輪を見に行きたいですか？」の問いに、すでに開催まで1か月を切った時期に尚、実に73%の人が「行きたくない」と回答していました。

「怖いな」と思います。

コロナが怖いのはもちろんですが、いまだ国民の多くが中止または延期を望んでいる中で、その声を押し切って五輪が開催されるという今の社会情勢もまた恐ろしい。まるで、負の歴史の記憶がよみがえってくるようで……。

本誌が皆さまのお手元に届くのは、おそらくオリンピックが閉幕に近づきつつある時期かと思えます。どうか大過なく無事成功し、さらにパラリンピ

ックに向けて明るい希望が差していることを、今はただただ願うばかりです。

いっぽうで、私たちの日本健康太極拳協会神奈川県支部総会は、次頁にもご案内させていただきました通り、2年連続での書面表決という形を取ることとなりました。誠に残念ではありますが、皆さまの健康を配慮すればやむを得ない決断かと思えます。

ですがそのような厳しい状況にあっても、本号のご投稿にありますように、ある人はなんと95歳で初伝をお取りになり、ある人はそば打ちに励み太極拳との共通点に思いを馳せ、またある方々は感染防止策を徹底しながら「アウトサイド de 太極拳」を実施する——というように、皆さまがウイズ・コロナの中でも生き生きとお元気に活動されている近況を伺うと、大いに勇気づけられます。

必ずアフター・コロナの時代が来ます。

それまで、どうか皆さま、楊名時八段錦・太極拳を心と体の支えとしてお過ごしいただき、遠からずまた一緒に「鶴の舞」を演舞できる日を楽しみに待ちましょう！

(結城 記)

★投稿先は以下の通りです（次号より送り先が変わりますのでご注意ください）。

- メール fwin8886@nifty.com
- 郵 送 〒232-0071 横浜市南区永田北3-13-11
- 宛 名 『浜太極』編集部

※投稿にあたってのお願い

- ・投稿は原則的にメールにてお願いいたします（写真は画像を添付してください）。
- ・やむをえず郵送される場合は、電話・メール等の連絡先を明記願います（FAXでの投稿は不可）。
- ・本文文章量の目安は1000～1500字程度。写真は肖像権の許諾を得たものをお送りください。
- ・すべての投稿を掲載できるわけではありません。掲載の際は編集部よりご連絡申し上げます。
- ・編集部のルールに基づき、原稿に修正を施す場合があります。あらかじめご了承ください。

★「太極拳川柳・短歌」&「どこでもいつでも太極拳」投稿随時大募集！！

太極拳川柳・短歌……季語を気にせず、五七五か五七五七七に乗せて自由に太極拳への思いを綴ってください。
 どこでもいつでも太極拳……日頃の太極拳とのかかわりを1枚の写真にこめて、『浜太極』にお寄せください。
 ※投稿先はいずれも上記『浜太極』編集部まで。